

令和2年度 第1回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

1 会議の日時 令和2年8月18日(火) 午後1時30分～午後3時

2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 702号室

3 出席委員 委員長 藪谷 あや子(大学教授)
(委員数4) 委員 櫻井 敬子(弁護士)
委員 太田 成紀(公認会計士)
委員 宇野 勇治(大学教授)

4 出席した事務局職員

鈴木晃総務部長、
出徹也契約課長、
大山主幹、高島主任主査、井澤主任主査、水越主査、中村主査

5 概要

(1) 委嘱状交付

(2) 総務部長あいさつ

(3) 報告事項

- ・入札制度の変更点(令和2年4月～)
- ・入札及び契約手続の運用状況(対象期間:令和2年1月～3月及び同年4月～6月)
- ・入札参加停止の状況(対象期間:令和2年1月～3月及び同年4月～6月)

(4) 抽出対象工事等の審議

対象期間:令和2年1月～3月

- ・一般競争入札 3件
- ・指名競争入札 2件
- ・随意契約 1件

対象期間:令和2年4月～6月

- ・一般競争入札 2件
- ・指名競争入札 4件
- ・随意契約 1件

(5) その他

- ・次回の定例会議について

次回の定例会議の日程は令和2年11月10日を目途に調整することとなった。

< 主な質疑 >

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>【抽出案件の審議】</p> <p>対象期間：令和2年1月～3月</p> <p>1 <u>阿知和地区石切丁場跡発掘調査業務(岡崎市東阿知和町ほか2箇町地内)</u> 契約金額が高いがどのような業務か。</p> <p>2 <u>阿知和地区工業団地造成事業に係る地質調査業務(岡崎市東阿知和町ほか2箇町地内)</u> 入札参加者数が多く、また失格者も多い要因は何か。</p> <p>3 <u>交通信号機移設工事(岡崎市康生通ほか1箇町地内)</u> なぜ指名競争入札で行ったのか。</p>	<p>本業務は、阿知和地区石切丁場跡の発掘調査及び報告書を作成する業務です。工業団地の造成が予定されている当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「阿知和地区石切丁場跡」に該当するため、工業団地造成前に本遺跡の記録保存を目的に行われるものです。</p> <p>本業務は、調査面積が7,400 m²と広大で、業務期間は令和2年度から令和5年度までの4年間に渡ること、人力掘削を行う調査員及び調査補助員は一般の土木技術や測量技術ではなく遺跡発掘調査に特化した技術が必要で人件費の単価が高いことなどから、契約金額が高くなったと考えられます。</p> <p>本業務は、阿知和地区工業団地の造成設計を行うため、19か所のボーリング調査、湧泉(水)や井戸の有無、地下水位を調査する水文環境調査・解析を行うものです。</p> <p>規模は大きいものの標準的な内容であり、難易度はそれほど高くない、一般競争入札で発注されたこともあり、参加資格を満たす多くの事業者が応札し、入札参加者数が多くなりました。またその結果、競争性が高まり落札率も低く、失格も多くなりました。</p> <p>この工事は、国道1号線と市道籠田町線が交差する康生通南2丁目交差点を中央緑道等の整備に伴い交通信号機の移設及び増設を行う工事です。</p>

<p><u>4 用水路改良工事（岡崎市藤川町地内）</u> 不調となった要因は何か。</p> <p><u>5 旧男川浄水場浄水施設撤去工事（その3）（岡崎市大平町地内）</u> 高額な案件だが、工事内容は何か。</p> <p><u>6 不燃ごみ選別コンベアー設置工事（岡崎市才栗町地内）</u> 随意契約の理由は何か。</p>	<p>愛知県警察指定の事業者で施工をするよう指示があったため、岡崎市に名簿登録がある6者での指名競争入札となりました。</p> <p>この工事は、老朽化した農業用のパイプラインを撤去、設置する工事です。</p> <p>1者のみ参加申し込みがありましたが、工事種別が管工事である入札に対して、参加事業者が水道施設工事と勘違いし、申請書の技術者の資格及び企業の施工実績を水道施設工事のものを記載したため失格となりました。参加者が少なかった理由としまして、年度末での入札で、多くの事業者は年度内工期の他の工事を受注しており、余裕がなかったためだと思われます。</p> <p>この工事は旧男川浄水場の使わなくなった浄水施設の一部を撤去する工事です。</p> <p>男川浄水場は岡崎市の給水量の約50%（12万tの内6万t）を供給しており、巨大な施設の撤去となるため契約金額が高くなりました。</p> <p>この工事は、不燃ごみを効率的かつ経済的に手選別処理をするためにコンベアーを設置するものです。</p> <p>気温の上昇による不燃ごみの自然発火の危険性が高まる夏期までに工事を完成することから、工期内に施工可能な唯一の業者である「新居浜鉄工所名古屋工場」と随意契約しました。</p>
<p>対象期間：令和2年4月～6月</p> <p><u>1 タブレット端末等整備業務（岡崎市稲熊町ほか60箇町地内）</u></p>	

契約金額が高く、落札率も高い要因は何か。

本業務は市内全小中学校67校の小学6年生から中学3年生までの4学年を対象にタブレット端末や外付けキーボードなど周辺機器、ソフトウェアライセンスの調達、ネットワーク接続設定を行うもので、整備台数は16,284台と規模が大きいことから契約金額が高くなりました。

また、本業務は国の「GIGAスクール構想の実現」に基づき実施するもので、全国で同様の業務が発注されており、作業員や機器の確保が難しく、すべてのタブレットに機器の接続やアプリ設定が必要で手間がかかることなどから、落札率も高くなったと推測されます。

2 岡崎市立梅園小学校ほか31校校内ネットワーク更新業務(岡崎市稲熊町ほか29箇町地内)

契約金額が高い要因は何か。また、辞退者が多い要因は何か。

本業務は小中学校32校においてICT環境の基盤である校内ネットワークの更新を行うもので、現地調査、詳細設計、機器の調達や設置、配線作業など業務は広範囲に渡るため、契約金額が高くなっています。

本業務は、タブレット端末等整備業務と同様に国の「GIGAスクール構想の実現」に基づき実施するもので、全国的に作業員や機器の確保が難しく、機器の設置や配線作業を夏休み、土日及び授業後に行うなど時間的制約があることから、指名した12者のうち8者が辞退、2者が棄権をしています。

3 市道岡崎阿知和スマートインター線ほか4路線用地調査業務(岡崎市東阿知和町ほか2箇町地内)

参加者数が多く、落札率が低い要因は何か。

本業務は、(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジ及びアクセス道路である市道阿知和スマートインター線を含めた周辺道路整備に必要な用地の調査・測量を行うものです。

今回の業務は、規模は大きいものの標準的

な内容であり、難易度はそれほど高くなく、一般競争入札で発注されたこともあり、参加資格を満たす多くの事業者が応札した結果、競争性が高まり落札率も低くなりました。

4 岡崎市立岡崎小学校大規模改修設計業務（岡崎市針崎町地内）

落札率が低い要因は何か。

この業務は、岡崎小学校の北校舎、南校舎、渡り廊下及び屋内運動場の大規模改修を行い、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げ、将来に渡って長く使い続ける施設へするために行うものがあります。

通常、改修設計業務は、既存施設の特性を理解する必要があり、新規設計と比べ敬遠されることが多いですが、建築設計ではかなり高額の案件であったため、競争性が高まり落札率も低く、失格も多くなると推測されます。

5 才栗橋 橋りょう耐震補強詳細設計業務（岡崎市才栗町地内）

落札率が高い要因は何か。

本業務は、橋脚のある橋りょうについて、耐震性や道路の重要性から耐震対策の優先度を評価して策定した耐震補強計画に基づき、才栗橋の橋りょう下部対策として橋脚の耐震補強詳細設計を実施するものです。

橋りょうの耐震補強設計であり、既存橋りょうの状況を調査・把握することの制約が多く、設計金額のわりに難易度も高いため、各事業者が敬遠したことでこのような結果になったと推測されます。

6 岡崎市豊富保育園改築工事（岡崎市榎山町地内）

落札率が高い要因は何か。

この工事は、昭和50年に建築され45年が経過し、老朽化が著しい豊富保育園の建て替えを行うものです。

既存園舎の解体及び木造平屋建て園舎、延床面積約1,640㎡の新築、並びに外構整備ま

で行うもので、開園までのスケジュールが定められており、木造建築で大量の木材を使用することから難易度も高い工事であるため、落札率が高く、契約金額も高くなりました。

7 乙川河川緑地整備工事(岡崎市板屋町地内)

随意契約の理由は何か。

この工事は、混合廃棄物混じり土の処分、整地や張芝等を行うものです。対象の混合廃棄物混じり土は、令和元年度の乙川河川緑地整備工事に伴って生じたもので、施工事業者は松尾建設です。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならないことから、排出事業者である松尾建設と随意契約しました。